

2016年度 京都教育大学 数学教育研究室

卒業論文・修士論文中間発表会

日時：2016年10月13日（木）

場所：京都教育大学 C棟1階 C1教室

開始：13:00～17:30

プログラム

1. 開会の言葉, 進行の流れ

2. 卒業論文・修士論文中間発表

学部生（4回生）（※発表・質疑 15分）

- ・佐野 永実（さの えみ）[13:05～13:20]
「算数的活動の効果的な指導法について～より良い授業づくりをするために～」
- ・倉橋 七緒（くらはし なお）[13:20～13:35]
「小学校算数科における立体図形と展開図に関する児童の認識特性～小学校第4学年を対象とした視線移動～」
- ・松本 岳史（まつもと がくじ）[13:35～13:50]
「小学校算数科「空間・立体図形」における指導系統の再構築～三次元空間における角に焦点を当てた指導法～」

<<第一休憩 [13:50～14:00]>>

- ・中久保 紗理（なかくぼ さり）[14:00～14:15]
「中学校数学科における論理的思考力の育成について～図形の論証指導に着目して～」
- ・田口 加奈子（たぐち かなこ）[14:15～14:30]
「教育的配慮を必要とする児童への算数科映像教材の提案～「数と計算」「図形」領域に着目して～」
- ・林 亜弥佳（はやし あやか）[14:30～14:45]
「数学教育における数学的モデリングの導入～生活の中の教材「スマートフォン」を活用して～」

<<第二休憩 [14:45～15:00]>>

- ・原田 陽輔（はらだ ようすけ）[15:00～15:15]
「開発途上国における算数・数学教育～カンボジアを例として～」
- ・山本 雪郎（やまもと ゆきろう）[15:15～15:30]
「小学校算数における数学的モデリングの活用～算数を日常生活と結びつけるために～」
- ・福永 裕輝（ふくなが ひろてる）[15:30～15:45]
「ICT機器を用いた算数教育～より良い授業作り～」

<<第三休憩 [15:45～16:00]>>

院生（1回生）（※発表・質疑 15分）

- ・中西 秀晃（なかにし ひであき）[16:00～16:15]
「中学校での数学指導における数学的モデリングの教材開発の研究」
- ・葛城 元（かつらぎ つかさ）[16:15～16:30]
「数学的探究の習得を目指した数学教材の開発とその実践」

院生（2回生）（※発表・質疑 20分）

- ・山田 真生（やまだ まい）[16:30～16:50]
「単元導入時における数学的モデリング教材開発 - 高校1年生の確率単元の実践 - 」
- ・橋本 尚也（はしもと なおや）[16:50～17:10]
「知的障害教育を対象とした時刻と時間教育のあり方 - 中学部における認識と支援方法 - 」

3. 講評, 閉会の言葉